

人工知能科学研究科 2025年度教員プロフィール

教員名			略歴等
内山 泰伸 ※2025年度研究休暇	ウチヤマ ヤスノブ	教授	東京大学大学院理学研究科物理学専攻で博士(理学)の学位を取得。SLAC国立加速器研究所Panofsky Fellowを経て、2013年に立教大学理学部物理学科准教授に着任。2016年より同教授。高エネルギー天文学を専門とし、近年は応用人工知能を推進。日本天文学会第21回研究奨励賞受賞、第5回宇宙科学奨励賞受賞。2018年、先端テクノロジーのベンチャーGalaxiesを起業。
大西 立顕	オオニシ タカアキ	教授	東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。博士(科学)。同大学院法学政治学研究科助手、同研究科助教、キャンングローバル戦略研究所研究員、同研究所主任研究員、東京大学大学院情報理工学系研究科准教授を経て、2020年より現職。実証データに基づいて学術的・社会的に価値ある知見を発見することに関心がある。
正田 備也	マサダ トモナリ	教授	専門分野は機械学習を使ったデータ分析。確率モデルによるテキストマイニング、特にトピックモデルによる大規模コーパスの分析を中心に研究を進めている。具体的には、潜在的ディリクレ配分法(LDA)を拡張したモデルによる学術情報の分析や、ベイズ的なデータモデリングによるセンサデータの分析などに取り組んできた。最近では、言語モデルを用いたテキストデータの分析に関心がある。
村上 祐子	ムラカミ ユウコ	教授	東京大学卒業後、フルブライト奨学生として哲学・論理学を学びPh.D(Philosophy,IndianaU)取得。国立情報学研究所、東北大学を経て現職。エージェント・行為概念の論理的挙動を演繹的に記述するプロジェクトを中心に、演繹的推論と帰納的推論の融合に取り組んでいる。
韓 先花	ハン シェンファー	教授	2005年琉球大学大学院理工学研究科博士後期課程修了、博士号(工学)取得。立命館大学研究員・研究准教授、産業技術総合研究所主任研究員、山口大学准教授を経て現職。
瀧 雅人	タキ マサト	准教授	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修了。博士(理学)。京都大学基礎物理学研究所を経て、理化学研究所数理創造プログラム上級研究員。著書に『機械学習スタートアップシリーズ これならわかる深層学習入門』。2015年度に素粒子メダル奨励賞。
大庭 弘継	オオバ ヒロツグ	特任教授	専門は国際政治学、応用哲学・倫理学。京都大学経済学部を中退後、海上自衛隊に入隊。退官後、九州大学で国際政治を専攻し博士号(比較社会文化)取得。南山大学社会倫理研究所講師、京都大学大学院文学研究科研究員を経て現職。
加藤 恒彦	カトウ ツネヒコ	特任教授	2001年大阪大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。大阪大学、広島大学、国立天文台などを経て2023年より現職。国立天文台では天文ソフト「Mitaka」の開発を行う。2020年文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。株式会社ギャラクシーズ リードリサーチャー。
三宅 陽一郎	ミヤケ ヨウイチロウ	特任教授	株式会社スクウェア・エニックス イノベーション技術開発ディビジョン リードAIリサーチャー。博士(工学)。著作に「人工知能のための哲学塾」「人工知能の作り方」「ゲーム情報学概論」「FINAL FANTASY XV の人工知能」「高校生のためのゲームで考える人工知能」(ほか多数)。
石川 真之介	イシカワ シンノスケ	特任准教授	2011年、東京大学大学院理学系研究科修了。理学博士。カリフォルニア大学バークレー校、JAXA 他での研究員を経て、2019年より株式会社豆蔵に入社。デジタル戦略支援事業部所属、AI-tech チームリーダー。

教員名			略歴等
和田 伸一郎	ワダ シンイチロウ	教授	2004年京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士(人間・環境学)。中部大学准教授を経て、現在、立教大学社会学研究科教授。計算社会科学と社会学理論との接合面において、SNSデータ分析を行っている(近刊予定)。他に専門として、AI社会論、現代哲学など。著書に、『存在論的メディア論 ハイデガーとヴィリリオ』、『国家とインターネット』(講談社、2013年)など。
浦川 伸一	ウラカワ シンイチ	客員教授	立教大学社会学部卒。日本アイ・ビー・エム株式会社でSE、プロジェクトマネージャを経て、損害保険ジャパン株式会社で専務執行役員などを歴任。現在、株式会社スカイページ代表取締役、及び、内閣府人間中心のAI社会原則会議構成員、一般社団法人システムイノベーションセンター代表理事などをつとめる。
前田 順一郎	マエダ ジュンイチロウ	客員教授	公認会計士・税理士・行政書士。東京大学経済学部卒業。マンチェスター大学経営学修士。都市銀行、あずさ監査法人、米国KPMG・国土交通省航空局勤務を経て独立。現在は豊富な経験を活かした幅広いコンサルティング業務を行いながら、日本公認会計士協会主任研究員、日本税務会計学会委員を務める。専門は会計・税務・金融DX・官民連携・ESGなど。
兵頭 龍樹	ヒョウドウ リュウキ	客員准教授	神戸大学・パリ大学で博士課程(理学)を修了し、JAXA国際トップヤングフェロー(准教授相当)などを経たのち、SpaceData Inc. の最高科学責任者(Chief Science Officer)とGalaxies Inc. の経営技術顧問を務める。東京科学大学およびパリ大学にも所属。日本惑星科学会「最優秀研究者」やS-Booster2023「最優秀賞・NEDO賞」など、多数の賞を受賞。また、立教大学では全学共通カリキュラム科目「地球の理解」を4年間担当し、「立教大学教育活動特別賞」を受賞した。
村上 隆夫	ムラカミ タカオ	客員准教授	東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。博士(情報理工学)。日立製作所研究員、産業技術総合研究所研究員、同研究所主任研究員を経て、2023年より統計数理研究所准教授。2020年カリフォルニア大学サンディエゴ校客員研究員。専門分野はプライバシー保護、機械学習の安全性。
天本 義史	アマモト ヨシフミ	兼任講師	一橋大学ソーシャル・データサイエンス研究科特任准教授。九州大学大学院工学府にて博士(工学)を取得後、カーネギーメロン大学、東京大学、名古屋大学、九州大学、立教大学にて研究に従事。専門は、材料(特に高分子材料)とデータサイエンスの融合分野。
有竹 俊光	アリタケ トシミツ	兼任講師	早稲田大学先進理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。日立製作所企画員、統計数理研究所特任助教を経て、2023年度より現職の一橋大学にて勤務。これまでは辞書学習などを含むスパースモデリング関連の研究を行っており、また、最近では最適輸送を用いたドメイン適応の研究に取り組んでいる。
伊藤 真利子	イトウ マリコ	兼任講師	総合研究大学院大学先導科学研究科五年一貫制博士課程修了。博士(理学)。社会・経済関連のデータ解析や、数理的アプローチによる集団意思決定の理論研究を行っている。

荻野 司	オギノ ツカサ	兼任講師	長岡技術科学大学大学院工学研究科博士前期課程了、東京都立大学大学院都市環境科学研究科博士後期課程了 博士(工学)。キヤノン(株)中央研究所を経て、各種製品の研究・開発やISP事業に携わる。2003年～2014年まで株式会社ユビテック代表取締役社長。現在は、IoTセキュリティにおける標準化を推進するとともに、CTF形式による実践的なセキュリティ教育活動に従事。また、JST個人型研究(さきがけ)「IoTが拓く未来」領域アドバイザー、経済産業省、デジタル庁の各種委員や情報処理推進機構の委員を歴任。
吉良 貴之	キラ タカユキ	兼任講師	愛知大学法学部准教授(法哲学)。東京大学法学部卒業、東京大学大学院法学政治学研究科博士課程満期退学。日本学術振興会特別研究員などを経て現職。将来世代に対する責任を問う世代間正義論を主たるテーマとし、具体的な問題として将来の不確実性のある科学技術の法的な統制を研究している。人工知能のELSI(倫理的・法的・社会的問題)はその一つであり、特に行動科学に基づいた統治手法(ナッジやアーキテクチャ)の局面に関心がある。
藤堂 健世	トウドウ ケンセ	兼任講師	東京工業大学総合理工学研究科知能システム科学専攻修士課程修了。同大学院博士課程後期課程在学中。人工知能の研究としては創造性研究、特に感情生成と言語創発を専門とする。人工知能を介したテーマで中学生や大学学部生・社会人に対してワークショップの実施等、アウトリーチ活動を続けている。
中山 研一郎	ナカヤマ ケンイチロウ	兼任講師	金融機関に勤務し、セキュリティ部署の部長、兼DX開発部署にも所属。SIerやコンサルティング会社での勤務経験あり。担当科目である情報科学概論、サイバーセキュリティ概論では実務経験を踏まえた講義を行う。
村田 悠也	ムラタ ユウヤ	兼任講師	株式会社小松製作所 ICT企画・運用チーム(2020/4～)。産業技術総合研究所 産総研・東工大 オープンイノベーションラボラトリ研究員(2017/5～2020/3)。東京工業大学総合理工学研究科博士課程修了(2017/12)。博士(工学)。